

## 2 転倒事故

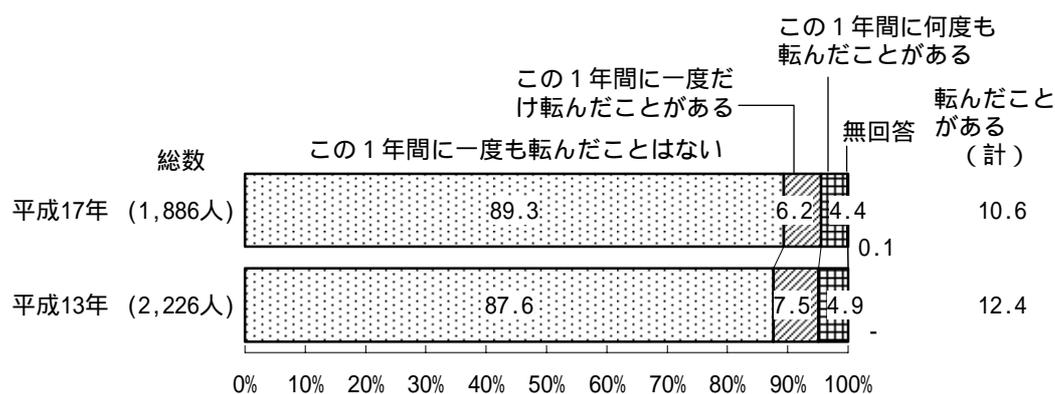
### (1) 自宅における転倒事故

#### ア 自宅内での転倒事故 (Q7)

自宅内での転倒事故についてみると、この1年間に転んだことのある人は10.6%と、1割の人が自宅内で転倒している。

前回調査(平成13年)との比較では、大きな変化はみられない。

図2-1 自宅内での転倒事故(Q7)



男女別にみると、転んだことのある人が、男性7.2%、女性13.4%と、女性で割合が高くなっている。

年齢階級別にみると、年齢が高いほど転倒事故の割合が高く、「85歳以上」では25.3%と4人に1人の割合となっている。一方、70歳未満の転倒事故は10%未満となっている。

住宅の建て方別にみると、「一戸建て」での転倒事故の割合が若干高くなっている。

表2 - 1 自宅内での転倒事故

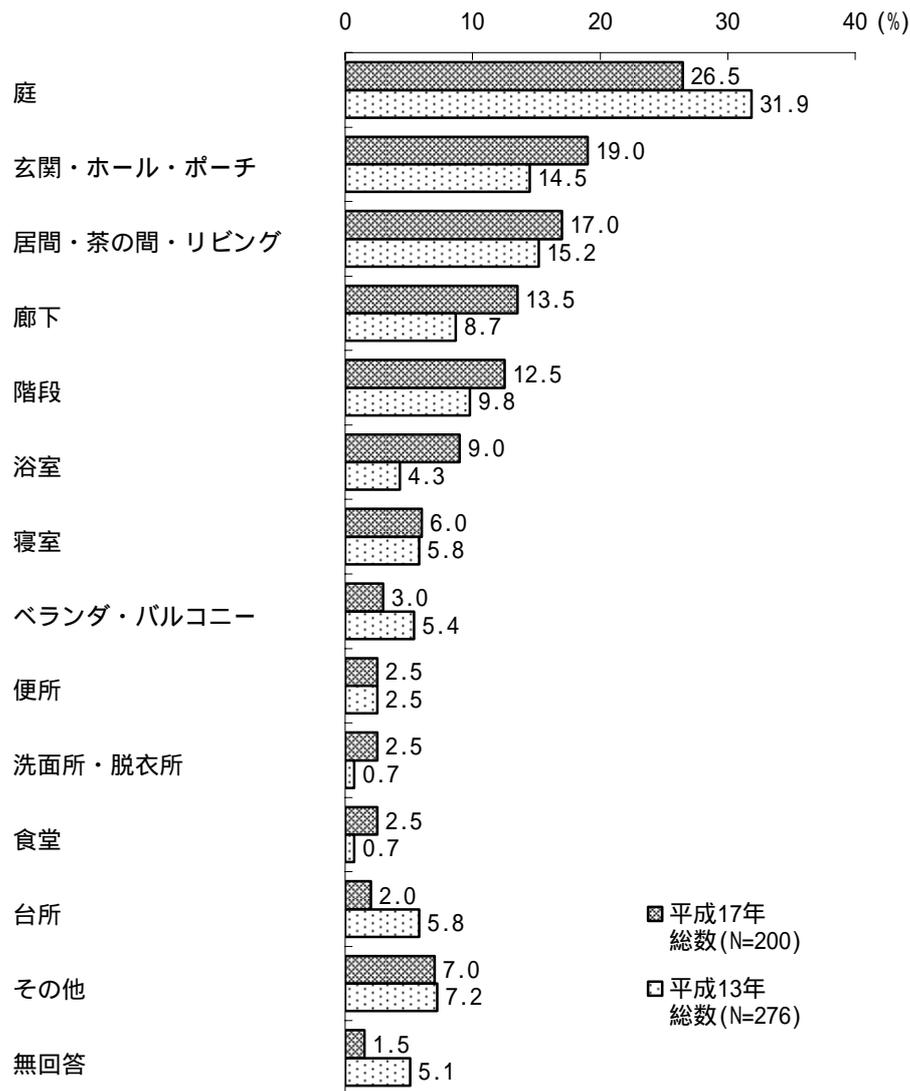
	総数	この1年間に 一度も転んだ ことはない	転んだことが ある(計)			無回答
			この1年間に 一度だけ転ん だことがある	この1年間に 何度も転んだ ことがある		
【総数】(実数) (構成比)	1,886	1,684 89.3%	200 10.6%	117 6.2%	83 4.4%	2 0.1%
【都市規模別】						
大都市	332	91.3	8.7	6.9	1.8	-
中都市	715	89.0	11.0	6.4	4.6	-
小都市	449	87.5	12.2	6.0	6.2	0.2
町村	390	90.3	9.5	5.4	4.1	0.3
【男女別】						
男	845	92.8	7.2	4.3	3.0	-
女	1,041	86.5	13.4	7.8	5.6	0.2
【年齢階級別】						
60～64歳	482	93.2	6.8	4.8	2.1	-
65～69歳	433	91.5	8.5	5.1	3.5	-
70～74歳	417	89.9	10.1	6.2	3.8	-
75～79歳	292	88.7	11.3	6.5	4.8	-
80～84歳	167	80.8	18.6	9.0	9.6	0.6
85歳以上	95	73.7	25.3	12.6	12.6	1.1
【健康状態別】						
良い	563	95.2	4.6	3.4	1.2	0.2
まあ良い	483	90.7	9.3	5.6	3.7	-
普通	520	89.6	10.2	5.8	4.4	0.2
あまり良くない	262	78.2	21.8	12.6	9.2	-
良くない	55	65.5	34.5	14.5	20.0	-
【住宅の種類別】						
持ち家	1,671	89.0	10.8	6.3	4.5	0.1
借家	213	91.1	8.9	5.2	3.8	-
【住宅の建て方別】						
一戸建て	1,659	88.8	11.1	6.4	4.6	0.1
集合住宅	205	93.7	6.3	3.9	2.4	-

### イ 転倒した場所 (Q7 - SQ1)

転倒した場所についてみると、「庭」が26.5%と最も高く、次いで、「玄関・ホール・ポーチ」が19.0%、「居間・茶の間・リビング」が17.0%、「廊下」が13.5%、「階段」が12.5%の順となっている。

前回調査(平成13年)と比較すると、「庭」の割合は減少しているが、「玄関・ホール・ポーチ」、「廊下」及び「浴室」の割合が増加している。

図2 - 2 転倒した場所 (Q7 - SQ1) (複数回答)



男女別にみると、男性は女性に比べて、「玄関・ホール・ポーチ」及び「浴室」で転倒する割合が高くなっている。

年齢階級別にみると、「85歳以上」は、「庭」が41.7%、「廊下」が25.0%と高い割合となっている。

表2 - 2 転倒した場所 (複数回答)

	総数	玄関・ ホール・ ポーチ	廊下	階段	居間・茶 の間・リ ビング	寝室	便所	浴室	洗面所・ 脱衣所
【総数】(実数) (構成比)	200	38 19.0%	27 13.5%	25 12.5%	34 17.0%	12 6.0%	5 2.5%	18 9.0%	5 2.5%
【都市規模別】									
大都市	29	17.2	3.4	24.1	24.1	13.8	3.4	10.3	-
中都市	79	22.8	11.4	12.7	15.2	6.3	2.5	6.3	3.8
小都市	55	16.4	16.4	5.5	20.0	5.5	1.8	9.1	1.8
町村	37	16.2	21.6	13.5	10.8	-	2.7	13.5	2.7
【男女別】									
男	61	27.9	9.8	14.8	18.0	3.3	3.3	13.1	1.6
女	139	15.1	15.1	11.5	16.5	7.2	2.2	7.2	2.9
【年齢階級別】									
60～64歳	33	21.2	9.1	21.2	24.2	3.0	3.0	9.1	-
65～69歳	37	16.2	18.9	13.5	13.5	2.7	2.7	5.4	2.7
70～74歳	42	21.4	11.9	21.4	11.9	4.8	2.4	14.3	4.8
75～79歳	33	21.2	9.1	3.0	12.1	12.1	-	6.1	-
80～84歳	31	22.6	9.7	3.2	22.6	9.7	3.2	6.5	3.2
85歳以上	24	8.3	25.0	8.3	20.8	4.2	4.2	12.5	4.2
【健康状態別】									
良い	26	34.6	3.8	23.1	7.7	-	-	3.8	3.8
まあ良い	45	11.1	13.3	11.1	13.3	8.9	2.2	4.4	4.4
普通	53	20.8	17.0	11.3	17.0	5.7	1.9	7.5	1.9
あまり良くない	57	15.8	12.3	7.0	21.1	8.8	5.3	12.3	1.8
良くない	19	21.1	21.1	21.1	26.3	-	-	21.1	-
【住宅の種類別】									
持ち家	181	17.7	14.4	11.6	16.0	5.5	2.2	8.8	2.8
借家	19	31.6	5.3	21.1	26.3	10.5	5.3	10.5	-
【住宅の建て方別】									
一戸建て	184	18.5	14.7	13.0	15.2	6.0	2.7	9.2	2.7
集合住宅	13	15.4	-	7.7	46.2	7.7	-	7.7	-

	食堂	台所	ベラン ダ・バル コニー	庭	その他	無回答	回答計
【総数】(実数) (構成比)	5 2.5%	4 2.0%	6 3.0%	53 26.5%	14 7.0%	3 1.5%	249 124.5%
【都市規模別】							
大都市	3.4	-	-	6.9	-	-	106.9
中都市	2.5	2.5	2.5	30.4	5.1	2.5	126.6
小都市	3.6	3.6	5.5	27.3	10.9	1.8	129.1
町村	-	-	2.7	32.4	10.8	-	127.0
【性別】							
男	3.3	3.3	-	21.3	4.9	1.6	126.2
女	2.2	1.4	4.3	28.8	7.9	1.4	123.7
【年齢階級別】							
60～64歳	3.0	-	-	18.2	9.1	3.0	124.2
65～69歳	-	-	5.4	35.1	2.7	-	118.9
70～74歳	-	2.4	2.4	19.0	7.1	4.8	128.6
75～79歳	-	6.1	3.0	24.2	9.1	-	106.1
80～84歳	9.7	3.2	6.5	25.8	9.7	-	135.5
85歳以上	4.2	-	-	41.7	4.2	-	137.5
【健康状態別】							
良い	-	-	11.5	19.2	15.4	-	123.1
まあ良い	2.2	-	2.2	31.1	6.7	2.2	113.3
普通	5.7	1.9	3.8	26.4	5.7	3.8	130.2
あまり良くない	1.8	1.8	-	31.6	7.0	-	126.3
良くない	-	10.5	-	10.5	-	-	131.6
【住宅の種類別】							
持ち家	2.8	1.7	3.3	27.6	7.7	1.7	123.8
借家	-	5.3	-	15.8	-	-	131.6
【住宅の建て方別】							
一戸建て	2.7	2.2	3.3	27.2	7.1	1.6	126.1
集合住宅	-	-	-	23.1	-	-	107.7

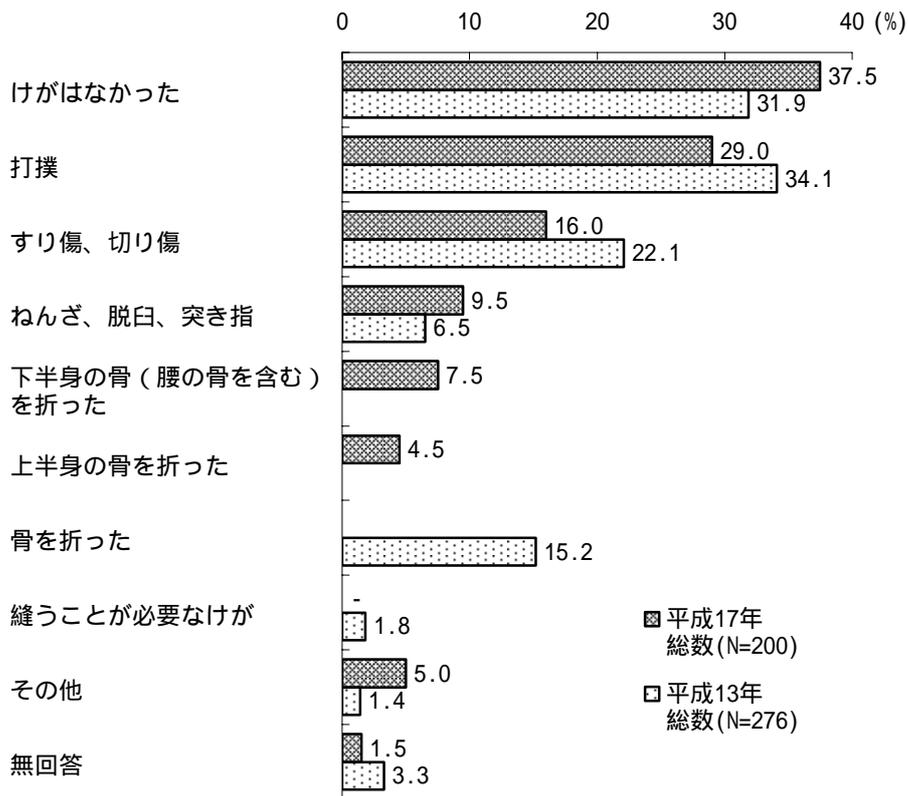
## ウ けがの有無等 ( Q 7 - S Q 2 )

自宅で転倒した人のけがの状況についてみると、「けがはなかった」が 37.5%で、転倒した人の約 6 割が何らかのけがを負っている。

けがの症状をみると、「打撲」が 29.0%と最も多く、次いで、「すり傷、切り傷」が 16.0%、「ねんざ、脱臼、突き指」が 9.5%の順となっている。

前回調査 (平成 13 年) と比較すると、「けがはなかった」の割合が増加している。

図 2 - 3 けがの有無等 ( Q 7 - S Q 2 ) ( 複数回答 )



(注) は調査時に選択肢がなく、データが存在しないもの

男女別にみると、「けがはなかった」は、「男性」が 50.8%に対し、「女性」は 31.7%で、「男性」は転倒した人の 2 人に 1 人がけがをし、「女性」は 3 人に 2 人がけがをしており、転倒した場合、「男性」に比べて「女性」の方がけがをする割合が高くなっている。

けがの症状では、「打撲」(男性 19.7%、女性 33.1%)及び「ねんざ、脱臼、突き指」(男性 3.3%、女性 12.2%)は男性に比べて女性でより高い割合となっており、差がみられる。「上半身の骨を折った」(男性 6.6%、女性 3.6%)及び「下半身の骨(腰の骨を含む)を折った」(男性 8.2%、女性 7.2%)は「女性」に比べて「男性」でより高い割合となっている。自宅で転倒し、けがをした場合、「女性」に比べて「男性」の方が、けがの症状が重度となる傾向にある。

表2 - 3 けがの有無等 (複数回答)

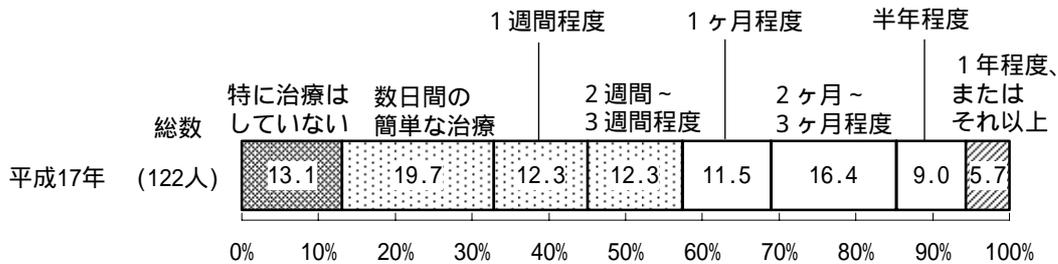
	総数	けがはな かった	すり傷、切 り傷	打撲	ねんざ、脱 臼、突き指	縫うことが 必要なけが
【総数】(実数)	200	75	32	58	19	0
(構成比)		37.5%	16.0%	29.0%	9.5%	-
【都市規模別】						
大都市	29	48.3	10.3	31.0	10.3	-
中都市	79	38.0	19.0	25.3	10.1	-
小都市	55	40.0	12.7	27.3	7.3	-
町村	37	24.3	18.9	37.8	10.8	-
【男女別】						
男	61	50.8	14.8	19.7	3.3	-
女	139	31.7	16.5	33.1	12.2	-
【年齢階級別】						
60～64歳	33	45.5	18.2	24.2	9.1	-
65～69歳	37	24.3	24.3	35.1	13.5	-
70～74歳	42	33.3	9.5	33.3	11.9	-
75～79歳	33	42.4	18.2	30.3	12.1	-
80～84歳	31	41.9	12.9	19.4	6.5	-
85歳以上	24	41.7	12.5	29.2	-	-
【健康状態別】						
良い	26	38.5	26.9	19.2	3.8	-
まあ良い	45	40.0	11.1	31.1	11.1	-
普通	53	37.7	11.3	26.4	7.5	-
あまり良くない	57	36.8	15.8	28.1	14.0	-
良くない	19	31.6	26.3	47.4	5.3	-
【住宅の種類別】						
持ち家	181	39.8	13.8	28.7	7.7	-
借家	19	15.8	36.8	31.6	26.3	-
【住宅の建て方別】						
一戸建て	184	37.5	15.8	28.8	8.7	-
集合住宅	13	38.5	15.4	38.5	15.4	-

( 続き )	上半身の骨 を折った	下半身の骨 (腰の骨を含 む)を折った	その他	無回答	回答計
【総 数】(実数)	9	15	10	3	221
(構成比)	4.5%	7.5%	5.0%	1.5%	110.5%
【都市規模別】					
大都市	3.4	3.4	-	-	106.9
中都市	3.8	6.3	3.8	1.3	107.6
小都市	5.5	5.5	7.3	1.8	107.3
町村	5.4	16.2	8.1	2.7	124.3
【男女別】					
男	6.6	8.2	3.3	1.6	108.2
女	3.6	7.2	5.8	1.4	111.5
【年齢階級別】					
60～64 歳	3.0	3.0	6.1	-	109.1
65～69 歳	5.4	8.1	2.7	-	113.5
70～74 歳	2.4	7.1	4.8	4.8	107.1
75～79 歳	3.0	6.1	-	-	112.1
80～84 歳	6.5	9.7	12.9	3.2	112.9
85 歳以上	8.3	12.5	4.2	-	108.3
【健康状態別】					
良い	7.7	7.7	7.7	-	111.5
まあ良い	2.2	6.7	4.4	2.2	108.9
普通	5.7	11.3	5.7	3.8	109.4
あまり良くない	3.5	5.3	3.5	-	107.0
良くない	5.3	5.3	5.3	-	126.3
【住宅の種類別】					
持ち家	5.0	7.7	5.0	1.7	109.4
借家	-	5.3	5.3	-	121.1
【住宅の建て方別】					
一戸建て	4.9	8.2	5.4	1.6	110.9
集合住宅	-	-	-	-	107.7

### エ けがの治療期間（Q7 - SQ3）

けがをした人の治療期間についてみると、「数日間の簡単な治療」が19.7%と最も高く、1ヶ月程度までの治療ですんだ人が半数を超えている。「2ヶ月～3ヶ月程度」が16.4%など、2ヵ月以上治療にかかった人は31.1%と3割を占めている。なお、「特に治療はしていない」は13.1%となっている。

図2 - 4 けがの治療期間（Q7 - SQ3）



男女別にみると、「特に治療はしていない」及び「数日間の簡単な治療」の割合は、男性に比べて女性で高くなっている。

表2 - 4 けがの治療期間

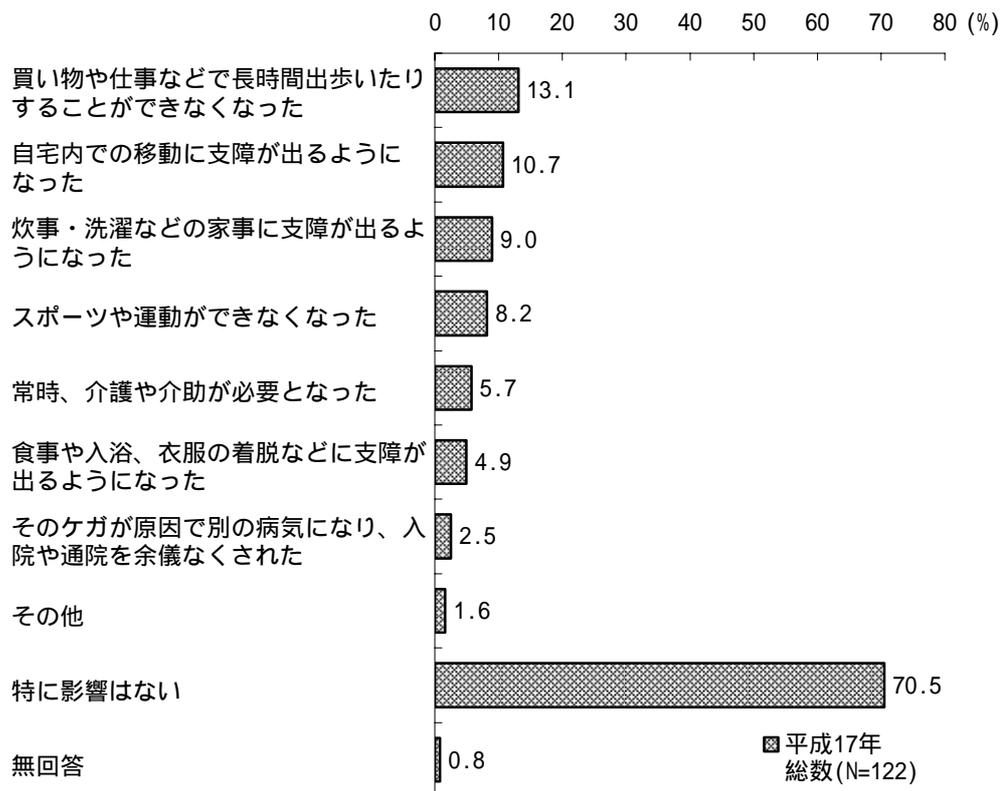
	総数	特に治療はしていない	数日間の簡単な治療	1週間程度	2週間～3週間程度	1ヶ月程度	2ヶ月～3ヶ月程度	半年程度	1年程度、またはそれ以上
【総数】(実数)	122	16	24	15	15	14	20	11	7
【構成比】		13.1%	19.7%	12.3%	12.3%	11.5%	16.4%	9.0%	5.7%
【都市規模別】									
大都市	15	13.3	-	-	33.3	20.0	6.7	13.3	13.3
中都市	48	18.8	18.8	12.5	8.3	14.6	18.8	6.3	2.1
小都市	32	12.5	28.1	9.4	9.4	6.3	12.5	15.6	6.3
町村	27	3.7	22.2	22.2	11.1	7.4	22.2	3.7	7.4
【男女別】									
男	29	10.3	13.8	17.2	10.3	10.3	27.6	6.9	3.4
女	93	14.0	21.5	10.8	12.9	11.8	12.9	9.7	6.5
【年齢階級別】									
60～64歳	18	11.1	22.2	11.1	5.6	16.7	27.8	-	5.6
65～69歳	28	14.3	10.7	17.9	10.7	17.9	14.3	10.7	3.6
70～74歳	26	19.2	11.5	15.4	19.2	7.7	11.5	11.5	3.8
75～79歳	19	5.3	42.1	10.5	10.5	5.3	10.5	10.5	5.3
80～84歳	17	5.9	23.5	5.9	11.8	17.6	11.8	11.8	11.8
85歳以上	14	21.4	14.3	7.1	14.3	-	28.6	7.1	7.1
【健康状態別】									
良い	16	12.5	18.8	18.8	12.5	-	18.8	6.3	12.5
まあ良い	26	7.7	11.5	23.1	11.5	11.5	15.4	11.5	7.7
普通	31	16.1	29.0	3.2	9.7	9.7	19.4	12.9	-
あまり良くない	36	11.1	22.2	8.3	13.9	19.4	16.7	2.8	5.6
良くない	13	23.1	7.7	15.4	15.4	7.7	7.7	15.4	7.7

### オ 日常生活への影響（Q7 - SQ4）

けがをした人の日常生活への影響についてみると、「特に影響はない」とする人が70.5%と7割を占めている。

一方、影響が生じる内容を見ると、「買い物や仕事などで長時間出歩いたりすることができなくなった」が13.1%と最も高く、次いで、「自宅内での移動に支障が出るようになった」が10.7%、「炊事・洗濯などの家事に支障が出るようになった」が9.0%、「スポーツや運動ができなくなった」が8.2%の順となっている。

図2 - 5 日常生活への影響（Q7 - SQ4）（複数回答）



男女別にみると、「特に影響はない」の割合は、女性に比べ男性の方が高くなっている。

表2 - 5 日常生活への影響（複数回答）

	総数	スポーツや運動ができなくなった	買い物や仕事などで長時間歩いたりすることができなくなった	自宅内での移動に支障が出るようになった	炊事・洗濯などの家事に支障が出るようになった	食事や入浴、衣服の着脱などに支障が出るようになった
【総数】(実数) (構成比)	122	10 8.2%	16 13.1%	13 10.7%	11 9.0%	6 4.9%
【都市規模別】						
大都市	15	6.7	20.0	-	6.7	-
中都市	48	6.3	12.5	14.6	12.5	4.2
小都市	32	15.6	15.6	15.6	12.5	9.4
町村	27	3.7	7.4	3.7	-	3.7
【男女別】						
男	29	3.4	3.4	6.9	-	-
女	93	9.7	16.1	11.8	11.8	6.5
【年齢階級別】						
60～64歳	18	5.6	5.6	5.6	5.6	-
65～69歳	28	3.6	10.7	10.7	14.3	7.1
70～74歳	26	19.2	23.1	11.5	15.4	7.7
75～79歳	19	5.3	10.5	5.3	-	-
80～84歳	17	5.9	5.9	-	-	5.9
85歳以上	14	7.1	21.4	35.7	14.3	7.1
【健康状態別】						
良い	16	6.3	6.3	-	6.3	-
まあ良い	26	11.5	15.4	7.7	7.7	7.7
普通	31	3.2	9.7	9.7	6.5	3.2
あまり良くない	36	8.3	16.7	13.9	11.1	5.6
良くない	13	15.4	15.4	23.1	15.4	7.7

	そのケガが原因で別の病気になり、入院や通院を余儀なくされた	常時、介護や介助が必要となった	その他	特に影響はない	無回答	回答計
【総数】(実数) (構成比)	3 2.5%	7 5.7%	2 1.6%	86 70.5%	1 0.8%	155 127.0%
【都市規模別】						
大都市	-	-	-	66.7	-	100.0
中都市	2.1	4.2	2.1	72.9	2.1	133.3
小都市	3.1	3.1	3.1	65.6	-	143.8
町村	3.7	14.8	-	74.1	-	111.1
【男女別】						
男	-	10.3	3.4	75.9	-	103.4
女	3.2	4.3	1.1	68.8	1.1	134.4
【年齢階級別】						
60～64歳	11.1	-	-	77.8	-	111.1
65～69歳	-	-	-	78.6	3.6	128.6
70～74歳	-	7.7	-	65.4	-	150.0
75～79歳	-	-	5.3	78.9	-	105.3
80～84歳	5.9	11.8	5.9	58.8	-	100.0
85歳以上	-	21.4	-	57.1	-	164.3
【健康状態別】						
良い	-	6.3	-	68.8	6.3	100.0
まあ良い	-	7.7	-	80.8	-	138.5
普通	3.2	6.5	3.2	71.0	-	116.1
あまり良くない	2.8	2.8	2.8	69.4	-	133.3
良くない	7.7	7.7	-	53.8	-	146.2

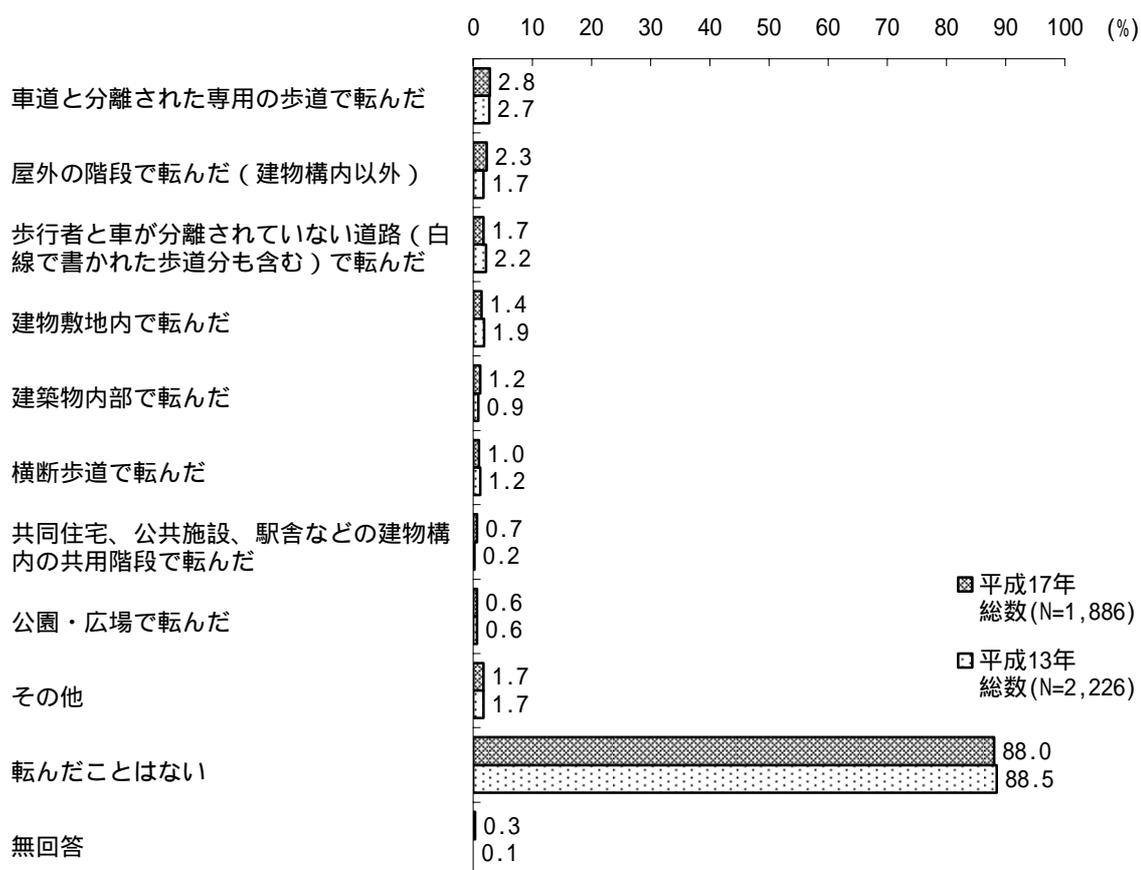
## (2) 屋外における転倒事故 (Q23)

外出時の屋外における転倒事故についてみると、この1年間に転んだことのある人は11.8%と、1割の人が外出時の屋外で転倒している。

転倒した場所をみると、「車道と分離された専用の歩道」が2.8%、「屋外の階段（建物構内以外）」が2.3%、「歩行者と車が分離されていない道路（白線で書かれた歩道分も含む）」が1.7%となっている。

前回調査（平成13年）と比較すると、ほとんど変化はみられない。

図2-6 屋外における転倒事故 (Q23) (複数回答)



年齢階級別にみると、転んだことのある人の割合は、「80~84歳」で17.4%と最も高くなっている。

健康状態別にみると、転んだことのある人の健康状態は、「良くない」が23.6%、「あまり良くない」が19.5%で高い割合となっている。

表2 - 6 屋外における転倒事故（複数回答）

	総数	転んだこと はない	転んだことが ある（計）	転倒した場所（複数回答）			
				屋外の階段 で転んだ （建物構内 以外）	共同住宅、 公共施設、 駅舎などの 建物構内の 共用階段で 転んだ	横断歩道で 転んだ	車道と分離 された専用 の歩道で転 んだ
【総 数】(実数) (構成比)	1,886	1,659 88.0%	222 11.8%	44 2.3%	13 0.7%	18 1.0%	52 2.8%
【都市規模別】							
大都市	332	89.2	10.8	1.2	0.6	2.1	3.6
中都市	715	87.3	12.4	2.5	0.8	0.6	4.1
小都市	449	88.0	11.6	1.8	0.2	0.9	1.8
町村	390	88.2	11.5	3.6	1.0	0.8	0.8
【男女別】							
男	845	89.3	10.5	1.8	0.9	0.7	1.7
女	1,041	86.8	12.8	2.8	0.5	1.2	3.7
【年齢階級別】							
60～64歳	482	88.8	11.0	2.5	1.0	0.8	2.3
65～69歳	433	89.1	10.9	1.4	0.5	0.2	2.1
70～74歳	417	88.7	10.8	1.4	0.5	1.4	2.6
75～79歳	292	86.6	13.0	3.1	0.7	1.0	2.1
80～84歳	167	82.0	17.4	5.4	0.6	1.2	7.2
85歳以上	95	89.5	10.5	2.1	1.1	2.1	3.2
【健康状態別】							
良い	563	90.8	8.7	1.8	0.2	0.5	2.0
まあ良い	483	89.0	11.0	2.1	-	1.0	3.1
普通	520	89.2	10.8	2.7	1.0	0.6	3.1
あまり良くない	262	79.8	19.5	3.8	2.3	1.1	3.4
良くない	55	76.4	23.6	-	1.8	7.3	1.8

	転倒した場所（複数回答）					無回答
	歩行者と車 が分離され ていない道 路で転んだ	公園・広場 で転んだ	建築物内部 で転んだ	建物敷地内 で転んだ	その他	
【総 数】(実数) (構成比)	32 1.7%	12 0.6%	23 1.2%	27 1.4%	32 1.7%	5 0.3%
【都市規模別】						
大都市	1.5	0.9	1.2	0.3	1.2	-
中都市	2.1	0.8	0.6	1.3	1.4	0.3
小都市	1.8	0.2	1.8	2.9	1.8	0.4
町村	1.0	0.5	1.8	1.0	2.6	0.3
【男女別】						
男	1.7	0.9	1.5	1.7	1.4	0.1
女	1.7	0.4	1.0	1.2	1.9	0.4
【年齢階級別】						
60～64歳	1.0	1.0	1.0	1.2	1.5	0.2
65～69歳	2.5	0.5	0.7	1.6	2.1	-
70～74歳	1.7	1.0	0.5	1.0	2.6	0.5
75～79歳	3.1	0.3	2.1	1.4	1.0	0.3
80～84歳	-	-	2.4	2.4	1.2	0.6
85歳以上	-	-	3.2	2.1	-	-
【健康状態別】						
良い	1.1	0.9	0.4	1.6	1.2	0.5
まあ良い	1.2	0.2	1.2	1.0	2.1	-
普通	1.3	0.6	1.3	1.0	1.5	-
あまり良くない	3.8	1.1	1.9	2.7	2.3	0.8
良くない	5.5	-	5.5	1.8	1.8	-